



平成 29 年 5 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社ケアサービス

(コード 2425 : 東証 J A S D A Q)

代表者の役職名 代表取締役社長 福原 敏雄

問 合 せ 先 取締役執行役員副サポートセンター長 福原 俊晴

電 話 番 号 03-5753-1170

中期経営計画の提出等について

当社は、平成 30 年 3 月期～平成 32 年 3 月期に係る中期経営計画を策定いたしましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

なお、当該資料について、当社のホームページに掲載いたします。

URL	http://www.care.co.jp/ir/manage/strategy
掲載日	平成 29 年 5 月 23 日

【添付資料】平成 30 年 3 月期～平成 32 年 3 月期 中期経営計画

平成 30 年 3 月期～平成 32 年 3 月期 中期経営計画(新規)

1 今後 3 カ年の中期経営計画

(1) 当中期経営計画提出時点における前事業年度の総括

(計画の達成状況、成果及び今後の課題)

(内容)

前事業年度の売上高は、介護事業、エンゼルケア事業、サービス付き高齢者向け住宅事業いずれも増収でしたが、上期におけるエンゼルケア事業の季節要因による売上の急激な落ち込み、及び下期にデイサービス等において不採算事業所の統廃合による売上減少の影響を受け、前年比微増となりました。利益につきましては、既存介護事業における人件費の増大により当初の計画を下回る結果となりました。また、当社の完全子会社である「上海福原護理服務有限公司」においては、介護に続き国営葬儀場である上海松江區葬儀場においてエンゼルケア事業を開始いたしました。介護、エンゼルケアともに日本式の質の高いサービスの提供を推進しております。

以上の結果、売上高は当初計画比 1.7%減となりました。営業利益は当初計画比 17.3%減、経常利益は当初計画比 3.9%増、親会社株主に帰属する当期純利益は当初計画比 1.4%減となりました。

(2) 中期経営計画の策定の背景及び概要

(内容)

①策定の背景

介護業界におきましては、国内の高齢化が進む中、介護サービスの需要は高まり、介護サービス受給者数及び介護給付費は増加しております。その一方で、介護サービスを提供するために必要な有資格者をはじめとした人材の確保が、介護事業者にとって引き続き大きな経営課題となっております。

また、平成27年4月の介護保険法改正では介護サービス全体で平均して4.48%の報酬単価の引き下げが行われましたが、これに引き続き平成30年には介護、医療両保険での大規模な報酬改定が予定されています。

このような状況の下、当社グループは早くより今後の介護業界の変化を見据えた戦略の見直しを実施し、既存事業の強化及び業務効率化を目的とした体制強化と成長領域への先行投資を実施してまいりました。

②中期経営計画の概要

当社グループは「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスを提供しており、展開しているデイサービス・訪問入浴サービス・訪問介護サービス・居宅介護支援サービス・福祉用具貸与サービス・特定福祉用具販売、サービス付き高齢者向け住宅事業、エンゼルケア事業と事業相互間でシナジー効果を生み出しやすい事業構成となっております。また、平成 28 年 7 月より訪問看護事業を開始し、これにより「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスに磨きをかけ、介護と医療の連携の強化、既存事業のレベルアップを図ってまいります。さらに中国においては、完全子会社である「上海福原護理

サービス有限公司」において介護サービス、エンゼルケアサービス提供の拡大を図ると同時に、北京においても事業を展開する準備を開始しております。

中期経営計画においては、当社グループ独自の事業構成をフルに活用し、大きなシナジー効果を生み出すことを目標として、各事業の戦略を定めております。なお、各事業の戦略は下記となります。

<介護事業>

- ・東京23区を中心としたドミナント戦略の推進及びドミナントエリア内の事業所の効率化、人員の最適化
- ・デイサービスのサービス品質の向上
- ・訪問看護事業の成長加速
- ・中国での介護事業推進
- ・介護・医療業界向け人材サービスの提供開始

<エンゼルケア事業>

- ・各地域の優良な互助会及び葬儀社と構築した良好な関係の維持・発展による営業基盤の充実化
- ・中国での国営葬儀場に対するエンゼルケア事業推進

<サービス付き高齢者向け住宅事業>

- ・地域に根差した営業展開を継続し、「終の棲家」としての看取り介護を実施することで、入居者のご家族にご安心頂ける施設の運営

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

(内容)

当中期経営計画は新中期経営計画の初年度にあたるため、進捗状況については該当ありません。

2 今期の業績予想及び今後の業績目標

(単位：百万円)

(%表示は対前期増減率)

		平成 29 年 3 月期 (実績)		平成 30 年 3 月期 (予想)		平成 31 年 3 月期 (目標)		平成 32 年 3 月期 (目標)	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売 上 高	介護事業	6,066	0.1	6,225	2.6	6,438	3.4	6,960	8.1
	エンゼルケア事業	1,767	5.0	1,878	6.3	2,024	7.8	2,201	8.7
	サービス付き高齢者 向け住宅事業	601	8.2	608	1.2	608	0.0	608	0.0
	合計	8,435	1.6	8,712	3.3	9,072	4.1	9,770	7.7
営業利益		234	△3.5	240	2.5	305	27.2	534	75.0
経常利益		289	13.0	222	△23.0	293	31.9	522	78.0
親会社株主に帰属する 当期純利益		156	6.5	140	△10.2	191	36.8	326	70.4

・ 業績予想及び業績目標の前提条件・数値根拠

(内容)

※ 平成 30 年 3 月期 予想

- ・ エンゼルケア事業につきまして、2事業所の新規開設を予定しております。
- ・ デイサービス1事業所の新規開設を予定しております。
- ・ 訪問入浴サービス1事業所の新規開設を予定しております。
- ・ 既存事業所の稼働率・入居率向上を図ります。
- ・ 人材サービス子会社を設立しております。
- ・ 北京にて合弁会社の設立及び介護事業の立ち上げを予定しております。
- ・ 中国にて新たにエンゼルケア2葬儀場でのサービス提供開始を予定しております。

※ 平成 31 年 3 月期 目標

- ・ 平成 30 年 4 月に介護保険法改正が予定されており、さらなる介護報酬減額が想定されます。それに伴い、介護事業の平均単価を下げて計画しております。
- ・ エンゼルケア事業につきまして、1事業所の新規開設を計画しております。
- ・ デイサービス2事業所の新規開設を計画しております。
- ・ 訪問看護サービス2事業所の新規開設を計画しております。
- ・ 中国にて、介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を計画しております。

※ 平成 32 年 3 月期 目標

- ・ エンゼルケア事業につきまして、1事業所の新規開設を計画しております。
- ・ デイサービス2事業所の新規開設を計画しております。
- ・ 訪問看護サービス2事業所の新規開設を計画しております。
- ・ 中国にて、介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を計画しております。

以上